

小松島市 南小松島小学校
令和5年度 第4回 学校運営協議会
実施報告

- 1 日時・会場 令和6年2月14日(水) 18:30~20:00 会議室
- 2 参加委員 井内健人、岡久稔史、金子留治、太鼓地道代、藤井正人、山本富繁
(以上50音順) 森田充校長、谷口和久教頭 (敬称略)

3 協議内容

(1) 学校経営について

○学習活動への取組

- ①11月22日(水)に「秋のふれあい徒歩遠足」を行った。1・6年、2・4年、3・5年のペアで、狸広場・生涯学習センター・しおかぜ公園の3つを1時間おきに回っていき、いっしょに外遊びをした。4~6年生が年上として、いろんな遊びを企画し下の学年のお世話をした。4年ぶりに実施したこともあって、子ども達はとても楽しそうに活動を行っていた。
- ②11月30日(木)にサウンドハウスホールで開催された「市小学校交歓音楽会」に4~6年生希望者で構成された金管バンドが参加した。子ども達はこの会に向けて、日頃から一生懸命練習に取り組んでいた。大きなホールで演奏できたことは、子ども達にとってまたとない素晴らしい経験となった。
- ③12月8日(金)のPTA授業参観は、全ての学級で学年に応じた人権学習を行った。人権教育講演会では、板野町子ども家庭総合支援センター教育支援室長の上田託也氏さんを招いて、情報モラルにおける講演を行った。子ども達は、今後インターネット等でさまざまなトラブルに巻き込まれたりしないようにするための話をよく聞き、情報との正しい付き合い方を学んでいた。
- ④12月20日(水)に東みよし町立足代^{あしろ}小学校5年生が来校し、本校の5年生と横須海岸をいっしょに清掃するなどの交流学習を行った。2月7日(水)には、本校の5年生が足代小に赴き、川を守る活動をしている方から話を聞いたり、制作した環境CMを互いに発表したりした。このCMのいくつかは県教育委員会のホームページ等で掲載される予定である。
- ⑤1月25日(木)に、本年度2回目の地震・津波の避難訓練を行った。今回は、1月1日の能登半島沖地震・津波のケースを参考に、地震発生後すぐに津波が到達する可能性があるという想定で、これまで一次避難場所としていた運動場へ避難することなく直接屋上への避難を試みた。また、初めて業間休みに訓練を行った。予告なしの訓練ではあったが、事前指導を丁寧に行った成果もあって、子ども達は迅速に避難することができた。事後指導では、子ども達から「もう一度訓練をして

ほしい。」「別の時間でも訓練をした方がよい。」という意見も出てきて、自分事としてとらえている子ども達もいた。また、教職員も危機感をもって訓練に当たったため、真剣味を帯びた訓練になった。教職員による反省会では、今後の改善点について話し合った。

(2) 令和5年度「学校評価アンケート」の結果と今後の取組について

○12月初旬に子ども・保護者・教職員を対象にアンケートを行った。①教育活動全般、②施設・設備、③安全・安心・健康、④学習活動、⑤生活指導の項目に分けて協議を行った。学級数や教職員を増やしてほしい等の要望は県や市の教育委員会に要望している。設備の不具合は市教育委員会と話し合っただけでなく早く修繕してもらうようお願いしている。

(3) 市教委への要望について

○11月17日(金)に行われた市PTA連合会の市長・教育長との懇談会における本校の要望について報告をした。通学路の安全対策や校舎の老朽化による修理等を要望した。その回答が市教育委員会より回答があり、それについての協議を行った。

(4) 創立100周年事業について

○協賛金の是非について協議をした。
○年代別ごとに人選するのがよいのではないか。

(5) 委員からの意見

○避難訓練は、今後3階にいる児童は直接屋上に行った方がいいのではないか。学校の建築年数が60年を越えようとしているので、1・2階は危険かもしれないので、危険な場所にわざわざ降りる必要性があるのかなと感じた。
○できれば、高学年はグループで協議して、どのように自分たちで避難すればよいかを話し合う機会をもつのがいいと思う。リーダーも決めて、自分たちで考えて行動できるようにしておくといい。
○松高の南西角はやはり危険。指導員の誘導の仕方も気になっている。警察の方も時折来てくれるが、もっと来てほしい。
○高木歯科前の交差点に押しボタン信号をつけてほしい。
○夏休み中、私服の児童が芝生川沿いのガードレールがない場所を歩いている児童をよく見かけており、危険に感じることもある。

■ 3 事務連絡 ■

① 今後の主な学校行事 (予定)

- ・ 卒業証書授与式 3月14日(木)
- ・ 修了式・離任式 3月22日(金)